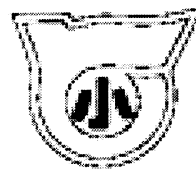


〈育てたい子供像〉

やさしい子
かしこい子
たくましい子

学校だより



令和2年度 7月号③ 7月20日

桃李小学校のシンボル「桃の木」に、今年たくさんの桃が実りました。こんなに実った年はないそうです。とてもめずらしい出来事です。「桃李」に関する言葉を調べてみました。

「桃李(とうり)もの言わざれども下(した)自(おのずか)ら蹊(みち)を成す」の解説

《「史記」李將軍伝賛から》 桃やすももは何も言わないが、花や実を慕って人が多く集まるので、その下には自然に道ができる。徳望のある人のもとへは人が自然に集まることのとえ。

「桃李(とうり)門(もん)に満つ」の解説

《資治通鑑から》 門下生にすぐれた人物がたくさんいることをいう。

臨時休業から始まった一学期も、残すところ2週間。臨時休業の生活が明け、友達や先生との関わりや学習に取り組む中で、いろいろなことがあったことでしょう。それでも、ほぼ毎日、全員が登校できた、たくましさをうれしく思います。上記の言葉のように、やさしく、かしこく、たくましい子供たちが集う桃李小学校になることを願っています。



学期末の悩み・・・

今年度の一学期は、昨年度末の未履修内容から学習がスタートしました。町内で統一した一学期分の学習内容の目安に即し、学期末に向けて学習を進めています。学期末の子供たちの様子を見ると、子供の頃を思い出します。学期末になると、だいたい「漢字のまとめ」の宿題が出され、半泣き状態でやりながら「どうしてこんなに勉強しなくちゃならないのだろう」と思ったものです。ちなみに、一緒に給食を食べている4年生に聞いてみました。「社会人になるため」、「漢字や計算分からんと何もできんから」などごもったもな答えが返ってきました。一緒に掃除をしている6年生に聞いてみると「将来、〇〇になるためにがんばる」としっかりとした答えも帰ってきました。子供たちなりに、よく考えていることに感心しました。確認テストなど結果でわかる評価だけで褒めていると、子供の学習意欲は失せていきます。学年が進むにつれて、学習の内容が難しくなっていくのですから、テストの点数が思うように上がらなくなり、子供たちは悲しい気持ちになって落ち込んでしまうのです。自分で考え、自分で判断し、自分で行動できるようになるために、今やらなければならないことを精一杯やってみる・・・というように、将来に向けての話を子供たちとしてみることも大事です。今年度から実施している新しい学習指導要領では、将来の社会的、職業的自立に向けて、必要な基礎的・汎用的な力を身に付けさせることを願い、このように将来に向けて考えさせる「キャリア教育」を推進しています。



ちょっといい話 ～子供たちの様子～

5年生が、保健の学習で「不安や悩みなどへの対処」について話し合っている様子を参観しました。

小学生の不安や悩みアンケートでは、1位は「勉強や進学のこと」、2位は「友達のこと」、3位は「性格のこと」と、男女ともに同じ結果が教科書に示されていました。思春期に入ると、自分自身の内面に向けての悩みが増えてきます。心身のバランスを崩さないよう、悩みや不安に合った適切な方法を見つけてほしいものです。

